

3月議会・3月臨時議会・6月議会の逃走！



その①：3月議会 平成28年度一般会計予算案審議。
 本会議での採決。賛否同数で議長の賛成で辛うじて可決。
 予算案反対議員 小熊正議員、本多隆峰議員、田中満男議員、赤川幸子議員

その①
 予算案の否決は
 後期高齢者療養給付費負担金5千7百万円、
 人工透析通院費助成百47万円、児童手当1億4千万円。
 保育料負担軽減措置事業助成金3百50万円、
 保育園管理運営費2億5千6百39万円、
 乳児紙おむつ支給事業費2百32万円などがすべて否決されることになり、一切支出ストップに。どれほど村民にご迷惑をおかけするか承知の上の反対なのでしょう。

もし二つの案件が否決されていたら・・・村民生活ができず、
 国・県から信頼されず見放されてしまうでしょう。

その②：3月臨時議会
 副村長人事承認審議。反対、賛成の討論、質疑なく直ちに無記名投票。
反対票 3名
 小林とよひこ後援会メンバーの武石雅之議長、板倉恵一議員、柏木文男議員は
 間違いなく賛成

副村長人事は地方創生政策の人材支援制度により、国が日本国中の沢山の要望の中から、
 弥彦村を選んでキャリア国家公務員を派遣してくれるという、本当にありがたい人事。それが
3名もの反対票が出ました。何のための反対か、全くわかりません。全国の市町村は全会
 一致で賛成です。弥彦村だけが異常なのです。

日本国政府は弥彦村を支援するために農林水産省のキャリア官僚を派遣してくれる
 ことを決めてくれました。全国沢山の市町村が「ぜひうちに」と陳情していたのに、
 何と我が弥彦村を指名してくれたのです。

それが、**弥彦村議会の3人もの議員さんが「いない」と反対したのです。それも
 顔を隠して反対したのです。**

派遣人事で指名を受けた市町村で、議員一人でも反対したところは今までありません。
 ゼロです。弥彦村だけです。こんなバカな態度を表明したのは。前代未聞で情け
 なくてなりません。

反対した議員は口をつぐんでいるため理由はわかりません。はっきりしていること
 は、村のことを何も考えていないということです。

その③：6月議会 競輪事業特別外部監査委員会関連補正予算3件

賛成2 反対5

反対議員 小熊正議員、本多隆峰議員 田中満男議員
 赤川幸子議員、安達丈夫議員

競輪事業特別外部監査3案件

競輪事業から弥彦村一般会計に平成3年度に10億円もの巨額のお金を繰り入
 れています。ところが平成12年度からは26年度までの13年間、入金はゼロ、
 一円も入っていません。その間、大胆な歳出の見直しを実施したことは一度もあ
 りません。1,000万円の年収の人が100万円に激減すれば、保険はすべて打ち切り、
 車も高級車から軽自動車に変えます。競輪事業がメチャクチャ儲かっていた時作
 ったいろいろな支出項目を、一度本当に外部の専門家集団に内容を調べてもら
 う（監査）、ということなのです。それで生き残りを図ろうというねらいです。それ
 で毎年村にお金が入るようになればものすごく助かります。反対する理由などど
 こにもないはず。 (平成16 弥彦保育園建設、平成21 弥彦体育館建設)

「競輪事業特別会計」から「一般会計」への繰り出し金									(単位千円)
昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度
330,000	335,000	395,000	440,000	750,000	1,000,000	960,000	330,000	300,000	350,000
平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
325,000	230,000	400,000	250,000	0	0	0	0	160,000	0
平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
0	0	0	150,000	0	0	0	0	0	70,000

平成28年に入って議会で猛烈抵抗を受けた案件、3つ具体的な例として取り上げま
 した。村民の皆さん、この例でわかる通り反対して皆さんに得になることはなにもあ
 りません。反対は何のためにしているのかわかりません。議会議員は弥彦村全体のため
 に存在するのではないのでしょうか。どうか皆さん、村長と一緒に弥彦村のため、弥彦村民
 のために本当に全精力を挙げて働ける丸山義晴候補予定者、小林晴雄候補予定者を心か
 らご支持、ご声援お願い申し上げます。